

2017年度（第53回）水工学に関する夏期研修会開催について



Aコース 河川・水文 行事コード：237021

Bコース 海岸・港湾 行事コード：237022

1. 主催 —— 土木学会（担当：海岸工学委員会，水工学委員会）
2. 後援 —— 土木学会関西支部
3. 期日 —— 2017年8月31日（木）～ 9月1日（金）の2日間（A，Bコース並行開催）
4. 場所 —— 大阪大学 吹田キャンパス 工学部U2棟 311講義室，312講義室（大阪府吹田市山田丘2-1）
会場までのアクセスの紹介ホームページ：<http://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/access.html>
徒歩：モノレール「阪大病院前」下車，北西へ15分．阪急「北千里」下車，東へ20分．
バス：御堂筋線経由北大阪急行「千里中央」駅，阪急京都線「茨木市」駅，JR京都線「茨木」駅から，それぞれバス(15分～30分程度)あり．「阪大本部前」停留所下車，北西へ徒歩8分．
5. 定員 —— Aコース 150名 Bコース 150名
6. 受講料 —— 1コースにつき1名 一般（社会人） 16,000円
学生・院生 10,000円
*いずれのコースも受講料に，講義集代（6,500円）が含まれています．
7. 申込方法 —— 下記のいずれかの方法でお申込下さい．
 - (1) 土木学会ホームページ：<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>
 - (2) FAX：学会誌巻末に掲載されている「本部行事参加申込用紙」をご利用下さい．
8. 申込に関するお願い
 - (1) 現地で当日参加申込をされるのではなく，極力この「事前申込」にて予め参加お申込みをお済ませください．また，その際，可能でしたらなるべく当日現金払いではなく「銀行振込」か「郵便振替」でのお支払いをご選択いただければ幸いです．会場現地での受付混雑緩和にご協力をお願い申し上げます．
 - (2) 申込締切日前に定員に達する場合がございます．予めご了承ください．締切日以降の事前受付は致しませんが，定員に余裕があれば行事当日会場にて受付けます．
 - (3) 申込後，やむを得ずキャンセルをされる場合は，必ず8月24日（木）17時までに研究事業課（水工学夏期研修会担当：03-3355-3559）へご連絡ください．ご連絡がない場合は，参加費を徴収させていただきますので予めご了承ください．
* 申込書到着後，一週間前後にて折り返し「参加券」および「請求書類」をお送り致します．
9. 申込締切日 —— 2017年8月24日（木）17時【必着】
10. 講義集の販売について
テキストのみご希望の場合は，研修会終了後に出版事業課までお問合せください．
注）研修会場でも販売いたします． 価格：A，Bコース共に 1冊 6,500円（税込）
11. プログラム等の最新情報
各委員会のホームページをご覧ください．
海岸工学委員会ホームページ：<http://www.coastal.jp/ja/index.php?水工学に関する夏期研修会>
水工学委員会ホームページ：<http://committees.jsce.or.jp/hydraulic/>

近年，河川法および海岸法が相次いで改正され，河川管理施設や海岸保全施設を適切に維持・修繕することが義務づけられました．これを受けて，河川・海岸分野でも構造物のメンテナンス技術に関する関心が高まっています．しかしながら，河川や海岸・港湾は道路や橋などのように特定の構造物のみを対象に維持管理を考えるだけでは不十分であり，防災，国土保全，沿岸環境などの観点から，より総合的な管理が必要です．本研修会では，まず維持管理の基本的な考え方や力学的な基礎の部分を河川・海岸共通の講義として設けました．さらに，具体的な構造物の維持管理技術，防災・土砂管理・環境管理の視点から河川・海岸の総合的な管理技術まで広い範囲をカバーする講義を用意しました．

まず、今年は両コース共通の講義としまして、近年ますますその重要性が認識されつつあり、そして研究も盛んな、土と水の相互作用について、また、アセットマネジメントについて、基礎的なところから振り返りつつ講義します。

そのうえで、Aコースでは、河川の維持管理で着目されるべき、土砂、ダム、植生に項目を絞っての講義を行います。最初に災害と維持管理の関係について、近畿地域の災害と維持管理の重要性、都市における水災害の防除の現状と課題について講義をします。また、ダム本体の長期供用のための維持管理、ダムにおける土砂管理についても講義します。土砂については流系としての流砂系総合土砂管理についても触れ、モデル開発の現状と課題について講義します。さらに、現状の課題を踏まえた河川の植生の維持管理について講義します。

Bコースでは、1日目は海岸・港湾構造物の基礎となる地盤と水の相互作用に関する共通講義の後、港湾の管理に関する話題として、港湾構造物の維持管理、港湾の埋没対策、および港湾環境について講義します。2日目は構造物の維持管理としてのアセットマネジメントに関する共通講義の後、海岸堤防の維持管理、海岸保全施設の長寿命化、および沿岸域の総合的管理について講義します。

この2日間の研修では、構造物だけでなく防災、国土保全および環境なども含めた総合的な維持管理の基礎から応用までを最新の知見を交えて解説します。本研修会が河川・水文分野、海岸・港湾分野に携わるまたは興味がある技術者、研究者、将来を担う学生の皆様にとって有益な情報を得る機会となれば幸いです。

Aコース：河川・水文コース 「河川の維持管理と流域の保全」

8月31日（木）

- (1) 9:00～10:30 堤防における土粒子－土－地盤構造と水の相互作用 前田健一（名古屋工業大学・教授）
- (2) 10:45～12:15 河川災害と維持管理 井上智夫（国土交通省近畿地方整備局・企画部長）
- (3) 13:15～14:45 都市を襲う水災害の防除の現状と課題 石垣泰輔（関西大学・教授）
- (4) 15:00～16:30 ダムの維持管理－堤体及び基礎地盤を中心として－ 山口嘉一（土木研究所・理事）

9月1日（金）

- (5) 9:00～10:30 点検データを活用したアセットマネジメント 貝戸清之（大阪大学・准教授）
- (6) 10:45～12:15 流砂系の土砂動態解析モデルの現状と課題 藤田正治（京都大学・教授）
- (7) 13:15～14:45 河川植生の維持管理～基本と実践～ 大石哲也（土木研究所自然共生研究センター・主任研究員）
- (8) 15:00～16:30 ダムおよび河川のニーズに立脚した流砂系総合土砂管理と貯水池土砂管理 角 哲也（京都大学・教授）

Bコース：海岸・港湾コース 「海岸・港湾における構造物の維持管理と海岸保全」

8月31日（木）

- (1) 9:00～10:30 堤防における土粒子－土－地盤構造と水の相互作用 前田健一（名古屋工業大学・教授）
- (2) 10:45～12:15 港湾構造物の戦略的な維持管理の実現に向けて 加藤絵万（港湾空港技術研究所・構造研究グループ長）
- (3) 13:15～14:45 港湾の埋没対策と浚渫土砂の有効利用 中川康之（九州大学・教授）
- (4) 15:00～16:30 港湾域を含む沿岸海域の環境管理 西田修三（大阪大学・教授）

9月1日（金）

- (5) 9:00～10:30 点検データを活用したアセットマネジメント 貝戸清之（大阪大学・准教授）
- (6) 10:45～12:15 海岸防災のための海岸堤防の維持管理 加藤史訓（国土技術政策総合研究所・海岸研究室長）
- (7) 13:15～14:45 防護機能を維持するための海岸保全施設の長寿命化計画 原文宏（(株)建設技術研究所・北陸支社長，前 建設コンサルタツ協会海岸・海洋専門委員会委員長）
- (8) 15:00～16:30 海岸保全を基軸とする沿岸域の総合的管理 佐藤慎司（東京大学・教授）

12. 問合せ先 —— 土木学会研究事業課・松沼（TEL：03-3355-3559）